

産地ブランド「Koo-fu」で 山梨のジュエリーの 魅力を伝えてほしい！

国内ジュエリーの約3分の1を生産する日本一のジュエリー産地、山梨。ここから発信する産地ブランドが「Koo-fu」です。今回は、ご実家が宝飾業を営む甲府市出身の女優、筒井真理子さんと、クーフーの若手デザイナーお二人に、ジュエリーの魅力などについて語り合っていました。



女優 **筒井 真理子**さん

甲府市出身。1982年、早稲田大学在学中に第三舞台に在籍し初舞台を踏む。以降、舞台をはじめ映画、テレビドラマ、CMなどで幅広く活躍。主な出演作品に映画「アキレスと亀」（北野武監督）、「ヒーローショー」（井筒和幸監督）他多数。2011年、映画「PAPER FLOWER」のアメリカ公開、「第三舞台30周年記念公演」（11月～東京/大阪/福岡）が予定されている。山梨の魅力をPRする「やまなし大使」としても活躍中。

ジュエリーの産地で 生まれ育って

筒井―昨年、やまなし大使に任命され、改めて故郷山梨の良さを実感することが多くなりました。その一つがジュエリーです。山梨は、国内のジュエリーの3分の1を生産する日本一の産地で、素晴らしいものがたくさんつくられていますが、それを知らない人が多いのが残念ですね。

飯島―ジュエリーを身につけても、なかなか産地まで意識しないですね。ところで、筒井さんにとってジュエリーはどんな存在ですか。

筒井―実家が宝飾業を営んでいるので、



いいじま けいこ **飯島 恵子**さん

「編む」をテーマにした飯島さんの作品は、シトリンとイエローゴールドの組み合わせ。「斬新ですてきなデザインですね。石が大きいのに柔らかな印象で、カジュアルでも着けやすい」と筒井さん。

クーフープロジェクトに参加する若手デザイナー。2010年3月に山梨県立宝石美術専門学校を卒業し、光新宝飾（甲府市）に入社。筒井さんが表紙写真で身につけているペンダントと指輪は飯島さんの「クーフーコレクション2011」作品。

昔からジュエリーは身近な存在でした。ジュエリーの本当の魅力に気付いたのは女優に



なつてから。今ではファッションの一部として欠かせないものです。お気に入りのジュエリーもたくさんあり、母からもらった手づくりの水晶ネックレスや、友人がプレゼントしてくれた指輪などは、ずっと大切に持っています。ジュエリーには気持ちを弾ませたり、落ち着かせたり、言葉では言い表せない魅力がありますよね。

クーフーに込められた デザイナーの想い

筒井―産地そのものをブランド化しようというクーフープロジェクト。私もこのクーフーに大きな期待を寄せています。今日はお二人に、今年1月に東京で開催された国際宝飾展に出品した「クーフーコレクション2011」の作品を持ってきてもらいました。このジュエリーは、どんな想いを込めてデザインしたので

か。
平山―私は、「一輪のバラ」をイメージしてデザインしました。末永く使っていただけの素材ですので、楽しみの幅を広げたいと思い、3種類の

ペンダントトップをペンダントとリングで付け替えできるようにしました。組み合わせを変えて楽しんでいただければと思います。

の地金を持つ、他にはない柔らかな色合いを生かして、シンプルな服に合うようなデザインにしました。また、ボリューム感たっぷりなので、カジュアルな洋服にもとても合うと思います。

飯島―私は、「編む」をモチーフにクーフーのゴールド系

の地金を持つ、他にはない柔らかな色合いを生かして、シンプルな服に合うようなデザインにしました。また、ボリューム感たっぷりなので、カジュアルな洋服にもとても合うと思います。

平山さんがデザインしたのは、3種類のペンダントトップを、ペンダントにもリングにもできるというアイデア作品。筒井さんは「すごい発明。面白い」と感心しきりでした。



ひらやま ゆかり **平山 由香利**さん

クーフープロジェクトに参加する若手デザイナー。2010年3月に山梨県立宝石美術専門学校を卒業し、工房グリーム（中央市）に入社。右の写真で筒井さんが身につけているペンダントと指輪は平山さんの「クーフーコレクション2011」作品。



デザイン画を手に、筒井さんに作品を紹介

筒井―どちらも高級感があり、普段使いできるようなかわいらしさもあって、すてきですね。



ジュエリーにまつわるいろいろな話題で盛り上がりました。

筒井―お二人の作品は素晴らしいですね。演技と共通するところがあると思います。私も演技をするときにはいつも新しい工夫をして、監督の期待を良い意味で裏切るように心掛けています。及第点の演技では、なかなか感動してもらえないので、お二人はこれから、どんなジュエリーをつくっていききたいですか？

筒井―お二人のような若い才能がどんどん開花して、産地を盛り上げていくと頼もしいですね。これからも斬新なデザインを生み出して、より多くの方に、山梨のジュエリーの魅力を伝えていきたいですね。



クーフーコレクション2011

ジュエリー日本一

山梨の産地ブランド **Koo-fu** の魅力

日本一のジュエリー産地、山梨。ここには、宝石の研磨・貴金属加工から製品流通に至るまで、幅広いノウハウと技術が集積しています。

この山梨から発信する産地ブランドが、「Koo-fu」です。独自に開発した素材と、受け継がれてきた高度な技術、そして最新のデザイン。産地の粋を集めて生み出されたジュエリーは、これまでにない輝きで人々を魅了します。

「クーフー」でジュエリー産業を活性化

国内ジュエリーの約3分の1を生産する山梨のジュエリー産業は、長引く景気低迷に加え、有名ブランドや東アジア諸国の安価な製品に押され、厳しい状況におかれています。

このような中、県内ジュエリー業界が一体となり、産地そのものをブランドとして認知してもらおうと立ち上げたのが、クーフープロジェクトです。独自に開発した高品質な素材に、研磨や彫刻・加工などの高い技術力と最新のデザインを組み合わせた、山梨オリジナルのジュエリーを世に送り出すことにより、ジュエリー産地・山梨を国内、そして世界に発信しています。

国内外に向け産地ブランドをアピール

プロジェクトの柱となるのが「クーフーデザイン室」です。産地の意欲あるデザイナーが集結し、毎年テーマを掲げて、クーフーの特徴を生かしてデザイン。これまで4回のコレクションを発表しています。

本格的な活動開始から5年。全国の有名百貨店でも販売されるようになり、販路は着実に広がっています。県内では、甲府駅前の百貨店内に直営店舗を開設しています。

県では、クーフープロジェクトをはじめ、海外での販路拡大を目指す特徴ある取り組みに対して支援し、ジュエリー産地・山梨の認知度のさらなる向上を目指しています。

産地ブランド「クーフー」

クーフーは、高品質な素材と繊細で高度な技術、最新のデザインが組み合わせり誕生した新しいジュエリーです。

オリジナル素材として、「従来のものより硬く傷が付きにくい、白く輝くプラチナ」や「メッキ加工を施さなくても白く輝くホワイトゴールド」変形や変色しにくい、イエローゴールドやピンクゴールド、「純度が高く変色しにくいシルバー」を独自に開発しました。

また、他の産地と差別化を図るために取り入れたのが、玉石の裏側から彫刻を施し、表面から模様を見せる「クーフー・インタリオ」。難易度が高く世界的にも熟練した技術者が少ないといわれています。

これらの素材や技術が作り出す美しさが、クーフーの証ともなっています。

クーフーコレクション2011 国際宝飾展で発表

クーフーの2011年新作コレクションが、1月26～29日に東京で開催された国際宝飾展で発表されました。新作のテーマは「エンジョイ・クーフー」。14人のデザイナーが、クーフーの特徴を生かしたバラエティーに富んだ作品を発表しました。



バイヤーなどでにぎわったクーフーのブース

デザインの可能性を広げる「クーフー」の地金

宝飾加工職人 銚子房深澤 深澤 利彦さん



クーフーオリジナルの地金であるPt950（純度95%のプラチナ）は、従来のプラチナより純度が高いのに、硬く傷が付きにくいという特徴があります。

職人にとっては、地金の硬さを生かして、思い通りに加工することができます。従来の地金より表面が美しいので、薄い形や細かいデザインに加工しやすい

く、地金を生かした大振りなブローチなどにも適しています。

また、傷が付きにくいので、お客様にとっても扱いやすいジュエリーだと思います。

クーフーの地金は、デザイン性の高い高品質な山梨のジュエリーの可能性を、さらに広げる素材だと思います。

Koo-fu Yプロジェクト

2年前から、若手職人たちによるクーフーY(ワイ)プロジェクトがスタートしました。Yプロジェクトが目指すのは、職人の育成と新たな市場の開拓です。これまで、ヨシコクリエーションパリの梶谷好孝さんや、チーゴの津田千穂さんといった有名ジュエリーデザイナーとコラボレーションし、若い感性と職人技を生かしたジュエリーを開発。国内外の展示会に出展し、ファッション業界にクーフーの魅力アピールしてきました。今後はコラボレーションでの経験を生かし、独自に商品開発を行い、認知度アップを目指していきます。

世界に注目されるブランドに
Sooチーゴ デザイナー 津田千穂さん
伝統ある宝飾の街で培われてきた技術が個性あるデザインと融合した時、ジュエリーは新しい息吹を与えられる。それがクーフーの魅力だと思います。Yプロジェクトの職人の皆さんは、私がかつて見たことのない高い技術をお持ちの方ばかりで、とても刺激的な経験となりました。今後も高い技術を生かしながら、その魅力をアピールし続けて、世界から注目されるブランドになってほしいと思っています。

ファッションの合同展示会に出展

2月15～17日に東京で開催されたファッション合同展示会「Rooms(ルームス)22」。国内外のバイヤーや報道関係者が来場するこの展示会で、Yプロジェクトとチーゴの津田千穂さんとのコラボによる新作が発表されました。また、パリコレ期間中の3月4～7日にパリで行われた展示会「ランデブー」にも出展し、ヨーロッパのファッション界にもクーフーを発信しました。



Yプロジェクトは、若手の職人にスポットを当てる取り組みです。2年間、有名デザイナーとコラボレーションし、作品づくりに取り組んできました。昨年度は、ジュエリーデザイナー 梶谷好孝さんと組み、

職人発のジュエリーをつくる！

クーフーYプロジェクトリーダー (有)小松ダイヤモンド工業所 小松一仁さん

原石がジュエリーになるまでの過程を表現したコレクションを発表。また今年度は、ジュエリーデザイナーの津田千穂さんと組み、販売につなげられるようにメンバーが製作したコレクションを東京とパリの展示会に出展し、高い評価を受けました。これからもいろいろなことにチャレンジしながら、職人



クーフーシルバーと水晶を用いた小松一仁さんの作品

がプロデュースするジュエリーづくりに取り組んでいきます。



Yプロジェクトのメンバーたち

クーフー専門ショップにお立ち寄りください！



甲府駅前の山交百貨店内に出店したクーフー専門ショップ。このショップでは、県内の宝飾業者20社の'08～'11年クーフーコレクションや普及版として製作したピアスやネックレス、指輪など278点を販売しています。また、結婚指輪など特注品の製造も受け付けています。ぜひ、山梨が世界に誇るジュエリー「クーフー」を手にとってご覧ください。

産地が一体となりさらなる飛躍を目指します



クーフープロジェクト委員会委員長 (株)イノウエ 井上 善展さん

山梨がジュエリー産地として生き残っていくためには、業態の垣根を越えて、産地が一体となつて取り組むことが大事です。そのためクーフープロジェクトは重要な役割を担っています。このプロジェクトは、年を重ねるごとに成長し、都内の百貨店で販売されるまでに至りました。また、従来のPt950に加えイエローゴールドやピンクゴールド、シ

メイド・イン・ジャパンを応援しています



三越 百貨店事業本部 MD統括部 婦人・雑貨統括部 特選雑貨部 バイヤー 植松 敏さん

三越では、日本が世界に誇る技術や素材に現代の感性が加わった新しい商品をお客様に積極的にご紹介しています。全国を回り、商品を探し求める中でクーフーに出会いました。山梨のジュエリー産業の技術力の高さや品質の良さはかねてから承知していましたが、クーフーはそれに加えて、

若い世代が中心となり新しい感覚のジュエリーをつくっているところに魅力を感じ、販売させていたくことに決めました。日本の優れた文化や産業を紹介していくことは百貨店の大切な役割です。クーフーについては今後も販売面で協力していきたいと考えています。

「ジュエリーの街」の新しいシンボル クリスタルアース

昨年8月、甲府駅北口に誕生したクリスタルアース。このモニユメントを構成するのは、32面体カットの水晶約7000個。山梨のジュエリー職人たちが7カ月をかけ、一つ一つ手作業で研磨しました。甲府の玄関口を利用する方々に、「ジュエリーの街」をアピールしています。



信玄公祭り「輝きの祭典」 大・宝・飾・展

県内(向ヶ国)品も展(軽)にござ(日)時(場)所(料)金(問)い合(ひ)局
平成 23年 3月 11日に発生した東日本大震災の影響により、中止になりました。県民の皆さまには、ご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いします。